

読書週間 10月27日～11月9日

終戦の2年後の1947年(昭和22年)、まだ戦火の傷痕が至るところに残っているとき、「読書の力によって、平和な文化国家を創ろう」と決意をひとつに、出版社、取次会社、書店と公共図書館が力を合わせ、さらに新聞・放送のマスコミ機関の協力のもとに、第1回「読書週間」が開催されました。第1回の「読書週間」は11月17日から23日。これは11月16日から1週間にわたって開かれるアメリカの「チルドレンズ・ブック・ウィーク」にならったものです。各地で講演会・図書に関する展示会が開かれ、その反響は大きなものでした。「一週間では惜しい」との声を受け、現在の10月27日から11月9日(文化の日をはさんで2週間)となったのは、第2回からです。それから約80年、「読書週間」は国民的行事として定着し、日本は世界有数の「本を読む国民」の国となりました。その一方、物質生活の豊かさに比べ精神生活の低迷が問題視されている昨今、論理的思考の基礎となる読書の重要性は、ますます高まっています。本年の「読書週間」が、みなさん一人ひとりの読書への関心と、読書習慣の確立の契機となることを願ってやみません。



「こころとあたまの、深呼吸。」

日々の慌ただしさにちょっと疲れた時、本の世界でひと休みしてみませんか？
心が落ち着き、ほっとできる本を紹介します。

タイトル	著者名	出版社	請求記号
うまくいく人は自分にやさしい	今井 孝	KADOKAWA	159
いつの間にか仲良くなっている人たちの世界	野口 敏	東洋経済新報社	361
SISTER“FOOT”EMPATHY	ブレイディみかこ	集英社	367

*159
すばる舎
『いつも幸せな人は、
2時間の使い方の天才』
今井 孝/著



*159
Gakken
『近大スピーチ』
堀江 貴文/著 他

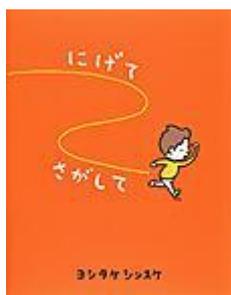


* F77
宝島社
『謎の香りはパン屋から』
土屋 うさぎ/著





*726



*Eニ



*726



*726



*726

*726 *Eニ *726
心がほぐれる本



ヨシタケシンスケ



*Eマ



*Eポ



*726



*Eチ



*Eモ



*B726



*B726

タイトル	出版社	タイトル	出版社
まだ大どろぼうになっていないあなたへ	ブルーシープ	ぼくはいったいどこにいるんだ	ブロンズ新社
にげてさがして	赤ちゃんとマ社	ヨイヨワネ うつぶせ編	筑摩書房
メンとモリ	KADOKAWA	ヨイヨワネ あおむけ編	筑摩書房
そういうゲーム	KADOKAWA	もしものせかい	赤ちゃんとマ社
まてないの	ブロンズ新社	ちょぴりながもちするそうです	白泉社
おしごとそうだんセンター	集英社	だったらこれならどうですか	白泉社

YA (ヤングアダルト) 図書ってどんな本?

YA 図書とは、10代を中心にこれから大人になる人達に向けて書かれた本です。

悩みや夢、友達や家族の事など、同じ年代に寄り添ってくれる作品が多く、読みやすく共感しやすいのが特徴です。

少し大人の本も読んでみたいなどと思ったら読書の秋に試してはいかがでしょうか。



「運命を変える
チャンスはなぜか
突然やって来る」
今村翔吾/著
岩波書店 *YF 17



「13歳からの
メンタルヘルス」
林 恭弘/著
総合法令出版
*Y146



「社会の時間」
松井 大助/著
ペリかん社
*Y366

10月 休館日

1 ~ 8, 13, 20, 27